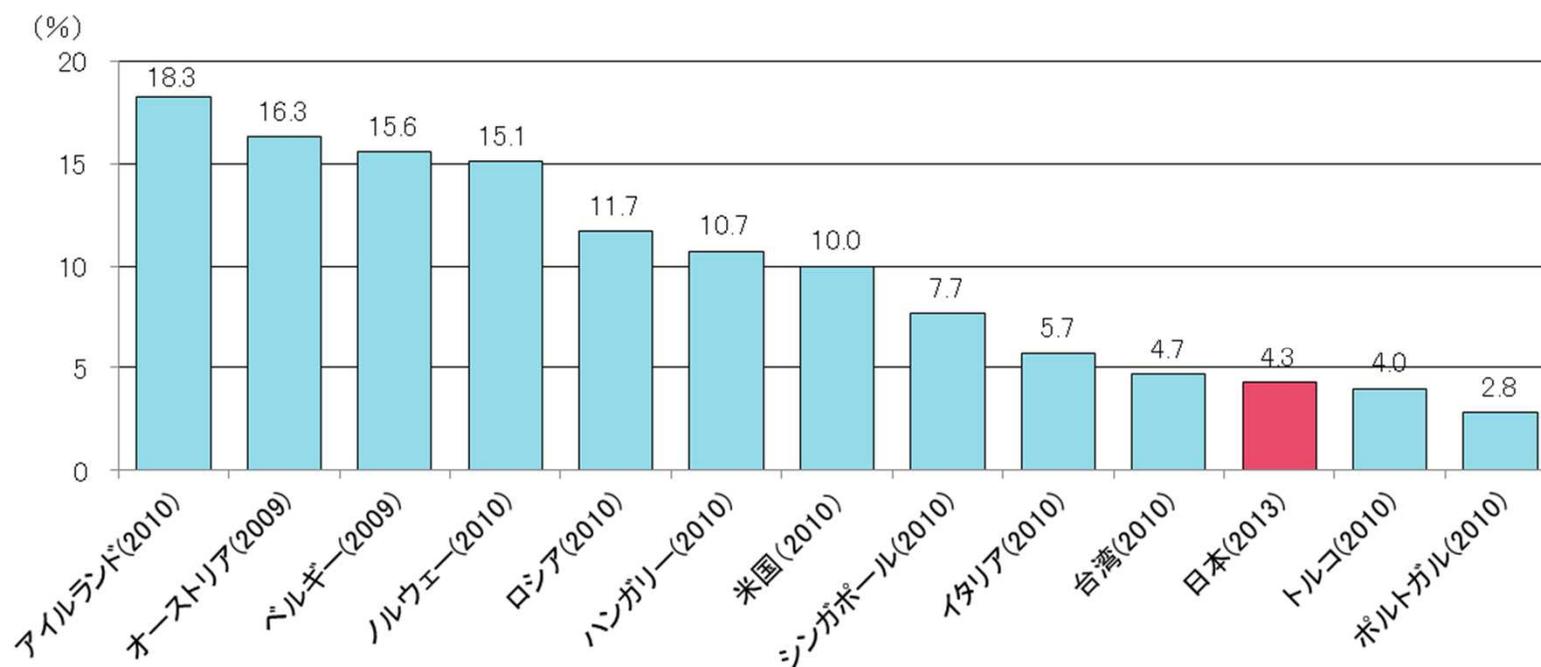


図3-5 / 企業研究者に占める博士号取得者（各国比較）

○我が国は、企業研究者に占める博士号取得者の割合が各国と比較して少ない。

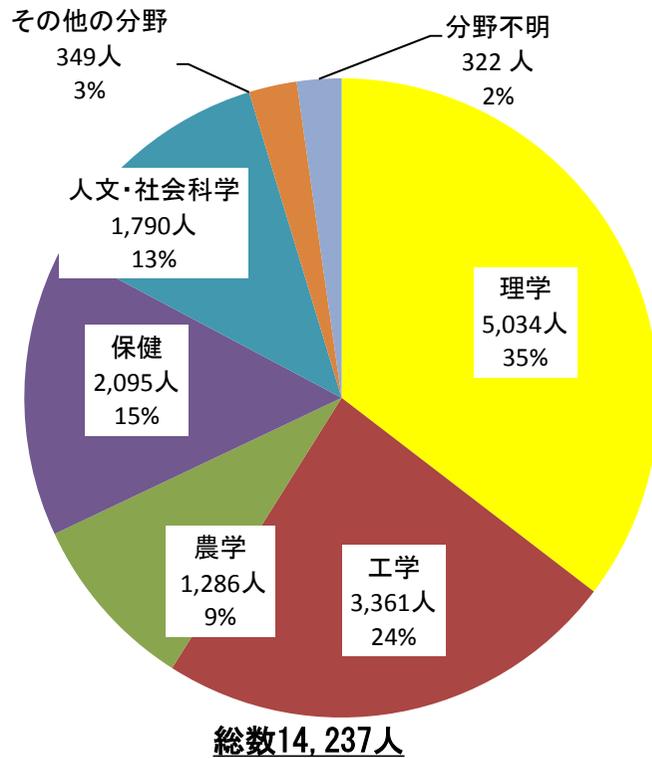


出典：日本は総務省統計局「平成25年科学技術研究調査」、米国は”NSF, SESTAT”、
その他の国は”OECD Science, Technology, and R&D Statistics”のデータを基に文部科学省作成

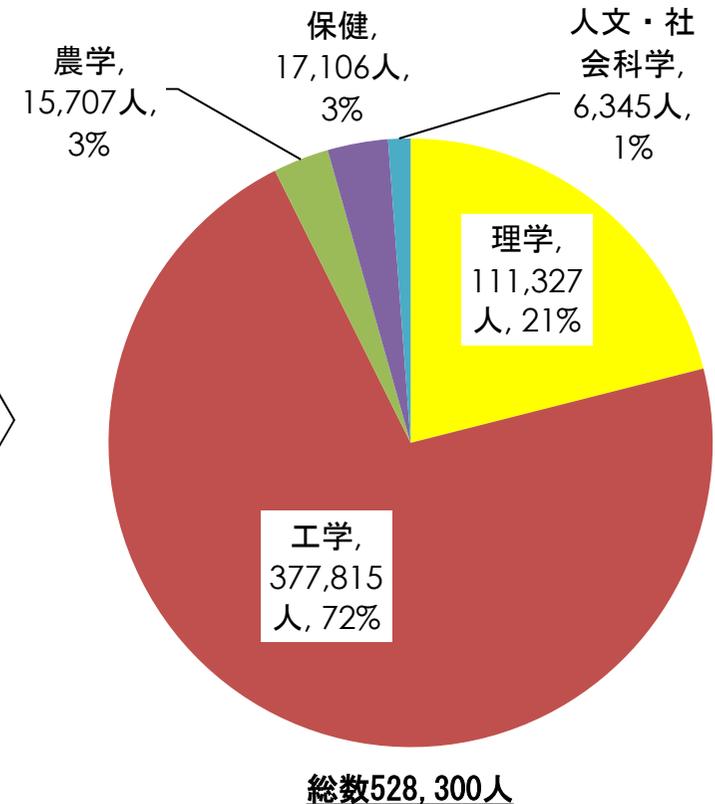
図3-6 / 企業とポストドクター等の研究者の分野別人数の比較

○ポストドクター等の専門分野は、理学が35%と最も多く、次いで工学が24%、農学が9%を占めている。一方、企業の研究者は、工学が72%と大半を占め、理学は21%、農学は3%となりギャップが生じている。

ポストドクター等の分野別構成比
(2013年1月在籍者)



企業の研究者の分野別構成比
(平成24年度)

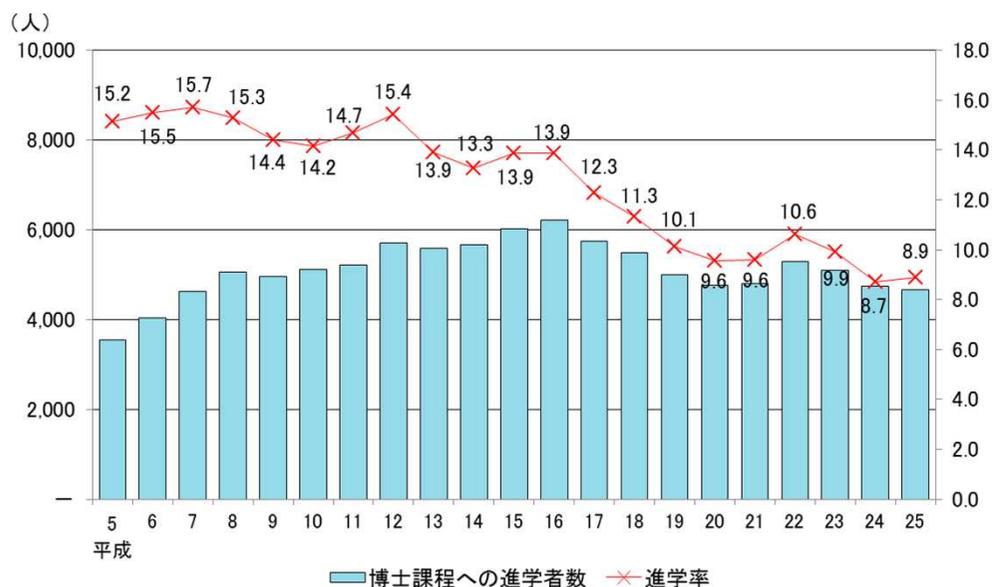


出典：科学技術・学術政策研究所「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査—大学・公的研究機関への全数調査（2012年度実績）—」
総務省統計局「科学技術研究調査報告」（平成24年度）

図 3 - 7 / 修士課程修了者の博士課程への進学者数及び進学率の推移

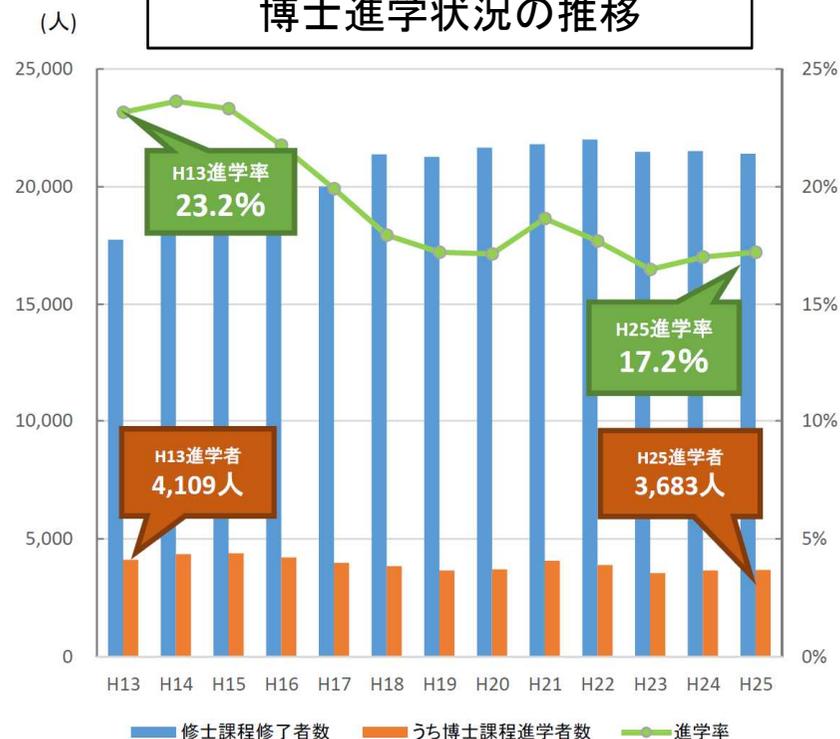
○修士課程の学生が博士課程への進学を敬遠する状況が生じている。

修士課程修了者（自然科学系）の博士課程への進学者数及び進学率の推移



出典：「学校基本調査」を基に文部科学省作成

RU11の修士課程修了者の博士進学状況の推移



※進学先は自大学の博士課程に限らない

※RU11：研究及びこれを通じた高度な人材の育成に重点を置く研究大学のコンソーシアム

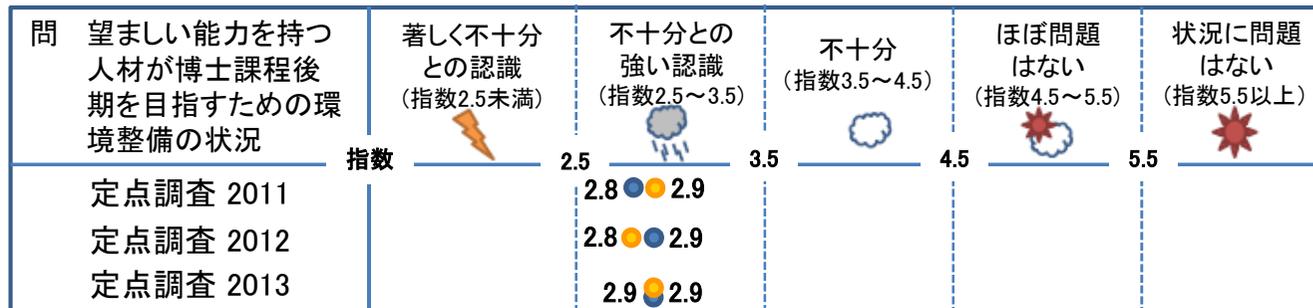
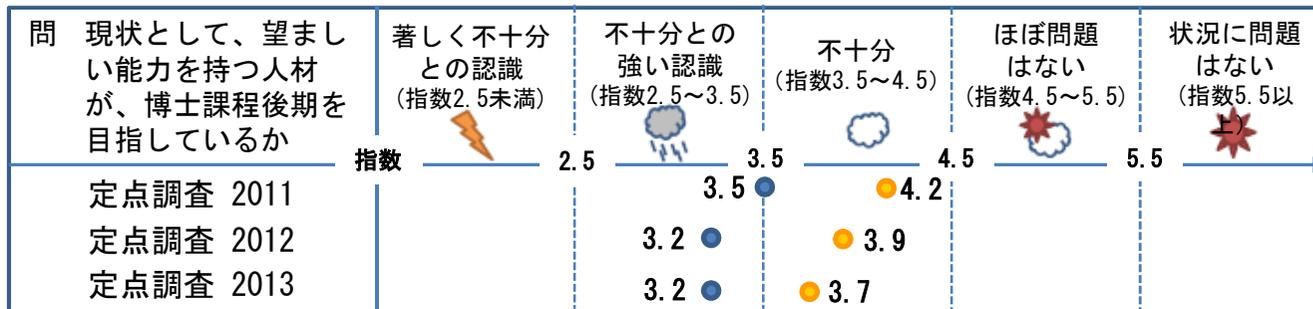
加盟大学は、北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、早稲田大学

出典：グローバル化時代における我が国の責務としての研究基盤の抜本的強化にむけて（提言）

(2014年8月 学術研究懇談会)

図 3-8 / 研究者を目指す若手人材の育成の状況

- 現状において、望ましい能力を持つ人材が博士課程後期を目指していないという認識が大学において示されている。
- また、望ましい能力を持つ人材が博士課程後期を目指すための環境整備については、十分ではないとの強い認識が示されている。



凡 ● 大学
例 ○ 公的研究機関

出典：科学技術・学術政策研究所「科学技術の状況に係る総合的意識調査（NISTEP定点調査2013）」
NISTEP REPORT NO. 157（平成26年4月）を基に文部科学省作成